



藍 綬

住友林業元社長  
(現会長)

矢野 龍氏

今回の受章は、住宅業界を支えてきた諸先輩方の努力が評価された結果だと思えます。私は日本木造住宅産業協会の会長および住宅生産団体連合会の副会長、国土交通省の社会資本整備審議会の委員等を長年務めさせて頂きましたが、このような勉強の機会を与えて頂いたことに感謝しております。私は人生、一生勉強を座右の銘としてきました。今後とも、引き続き世の中のお役に立てるよう、勉強を重ねる所存でございます。変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



藍 綬

情報サービス産業協会  
副会長  
(ジャステック会長)

神山 茂氏

このたび身に余る藍綬褒章の栄に浴し、誠に光栄に存じます。これもひとえに当社のお客さまをはじめ、従業員、業界団体、その他関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。わが国において、各界の指導層は知識共有から創造的の改革をもつて諸課題の解決にあたる必要に迫られていますが、現在の業界でも国外に先鞭を取られいる状況下で、私としては転換をリードする人材の発掘はもとより、自らもしかるべきテーマを設定し取り組んでいきたいと思っております。



藍 綬

セイコーエプソン  
会長

花岡 清二氏

このたび藍綬褒章授受という栄に浴しましたことは多くの皆さまのご支援によるものであり、心より感謝するとともに厚く御礼申し上げます。当社のブランドEPSONの起源でもある「EP-101」に始まった業務用小型プリンターを発展させ、業界標準として世界中に普及したことは日本の産業振興に少なからず貢献できたのではないかと自負しております。今後も企業経営を通して、新たな商品開発、市場創出に励み、産業・文化振興に貢献していきたいと考えております。




藍 綬

トヨタ自動車元副社長  
(現顧問)

石坂 芳男氏

このたび、藍綬褒章受章の荣誉に浴し、身に余る光栄でございます。1963年にトヨタ自動車に入社以来、主に北米、欧州、アジアなど海外部門に携わってまいりました。海外生産・販売の拡大と国際化への対応に努めて参りましたが、この間、諸先輩並びに多くの関係者の方々のご指導とご支援をいただきながら仕事に取り組むことが出来ました。この栄から感謝申し上げます。この栄ある受章を、励みといたしまして、さらなる精進を重ねて参る所存でございます。



藍 綬

日建設計元社長  
(現顧問)

三柄 邦博氏

建築設計の道を志して50年、このたび受章の栄に浴することとなりました。日建設計では永続的価値を持つ建築を追求し、日本建築士事務所協会連合会では設計と工事監理を営む建築士事務所の業務の適正化と建築主の利益保護を目指す公益活動に携わって参りました。建築文化の発展と国民福祉向上の両面で、建築設計の専門家に課せられた社会的使命をいささかなりとも果たせたとすれば望外の喜びであり、今後とも社会と設計界の健全な発展に向け注力して参る所存です。



藍 綬

東芝セミコンダクター  
社首席技監

斎藤 光男氏

入社以来プロセスサートレスIをはじめてとする多くの研究開発に従事することができ、また、上司、部下、社内外の多くの仲間にも恵まれたことは大変幸運でした。私たちが開発したプロセスサートレスIが技術の発展に貢献するとともに、高性能ゲーム機等に採用され、一般の皆さまに使用される楽しみされていることは大きな喜びです。ご協力いただいた多くの関係者の方々から感謝致します。わが国の半導体技術のさらなる発展および若手研究者・技術者の活躍を大いに期待しています。

# 春の褒章

喜びの声

≪1面参照≫



紫 綬

本田技術研究所  
主任研究員

清水 康夫氏

このたびは栄えある褒章を頂戴し、大変光栄に存じます。世界のお客さまに使っていた技術を実用化した、との思いから入社以来、研究開発に全力投球して参りました。今回の受章は、苦業を共にした仲間の頑張りや諸先輩方の御指導あつてのことと改めて感謝の念を強くしております。そしてこの受章が、今まさに頑張つていらつしやる技術者の方々の励みになればと思います。有り難く頂戴したいと思います。



黄 綬

ローツェ社長

崎谷 文雄氏

このたびは受章の栄に浴し、身に余る光栄と感謝しております。私は小学生の時に鉱山でラジオに感激し、電子回路開発の道に進みました。半導体製造装置の開発に携わって35年、世界標準となったダブルアームロボットが今回、広く認められ、大変うれしく思います。ローツェの設立から早26年が過ぎ、この間に備後地方の技術向上を目指して仲間とつくった「備後半導体技術推進連合会」は、18年間続いております。この受章を機に思いを新たに、業界発展にまい進する所存です。



藍 綬

東洋高圧社長  
(広島市西区)

野口 賢二郎氏

このたびは思いもかけぬ栄誉にあずかり、心より感謝申し上げます。一緒に苦勞してくれている従業員の皆さまや、お世話になつた諸先輩を始め、さまざまな方々のご指導・ご鞭撻の賜物と感じ入っております。高圧機器メーカーとして、ニッチな分野を開拓して参りましたが、そのような仕事を認められたことにとてもうれしく思います。今回の受章を励みとして少しでも世の中のためになることをしていきたいと、心を新たにしたい次第です。



藍 綬

ホクショー社長  
(金沢市)

北村 哲志氏

このたびは受章の栄に浴し、身に余る光栄と恐縮しています。石川県鉄工機電協会の一員としてモノづくりに取り組み、モノづくりが同県や日本の基盤産業であると確信して参りました。省力化を実現する搬送システムの提供で製造現場に、ロジスティクス機器の提供で物流業界にそれぞれ貢献したことを評価して頂けたものと感謝しています。企業は人なりと申します。社員一人ひとりが自らの能力は無限であると信じ、未来に挑戦していく企業風土をさらに高め、精進して参ります。



藍 綬

ナベル社長  
(京都市南区)

南部 邦男氏

我が国が復興に向かって大変な中、栄えある藍綬褒章受章のご連絡をいただき恐縮至極です。この栄は今日まで私を育ててくださった両親、恩師として困難な時に私を支えてくださった多くの皆さまへの褒賞と思ひ感謝、感激いたしております。天然資源も耕作地も少ない我が国の産業人は、明治以来国家の独立と発展のために命を賭して産業報国に心を砕いてきました。先人の遺志を継ぎ日本人である誇りを胸に、与えられた使命を果たすべく社員とともに社業に精進する覚悟です。



黄 綬

昭和冷凍プラント社長  
(北海道釧路市)

若山 敏次氏

このたびはからずも受章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。冷却設備研究技術者一筋で勤め上げ、現役として受章できたことは今後、当社の最大の励みとなります。決して自分ひとりの力ではなく社員、家族としてお客さまに支えられてのことだと感謝しております。当社はこれまで独自の冷却設備技術で地域産業に貢献して参りました。これからも食の安心・安全を第一に、さらに環境への負荷が少ない設備を開発すること、一層貢献していきたいと考えております。



黄 綬

オークラ輸送機社長  
(兵庫県加古川市)

大庫 良一氏

大変な章をいただき、身に余る光栄です。この栄誉をオークラグループ全社員とともに分かち合います。ただ、東日本大震災で被災された方々を思うと喜んでいるわけには参りません。私どものお客さまの多くも工場や、物流センターが被災されました。まだまだ余震も原発問題も予断を許しません。国内の生産・物流を止めない、復旧していくことが今、私どもに与えられた使命だと考えております。この受章を励みとし、社会にお役立ちできるよう微力を尽くして参る所存です。



黄 綬

小林製作所社長  
(群馬県高崎市)

小林 輝男氏

プラスチック成形業界に入った時、法学部出身の私は樹脂について何も分りませんでした。そんな私を諸先輩方が支えてくださり、大手材料メーカーの担当者も懇切丁寧に教えてくれました。そんな支えがあつてこそ今日までやつてこれたので、受章には戸惑いもあります。わが社が主力とする産業用機械部品には、樹脂化できる部分が多く残っています。今後も樹脂化に関する課題を解決し、産業用機械の原価低減や軽量化に貢献したいと考えています。



黄 綬

ドリマックス会長  
(埼玉県川口市)

松本 英夫氏

身に余る光栄です。当社が考案した野菜類カット機向けの「新・丸刃遊星回転方式」が評価され、うれしく思います。愛用していただいているユーザーの皆さまには大変感謝しております。6年前に息子が経営を引き継ぎ、それに伴い若い社員が増えるなど、会社としてはさらなる充実・発展の可能性が見えてきました。私自身も開発者としては現役で、日々研究に励んでおります。生涯モノづくりに携わり、顧客満足と食文化の高度化に向け一層精進して参る所存です。

# 読めば、 あなたの 「知層」になる。

幼いころ読んだ図鑑も、最近読み終えた小説も、朝、目を通した新聞も。  
読んで得た知識や知恵は、すべてあなたに積み重なっていく。

本や新聞を読んで、新しい世界を見よう。

財団法人 文字・活字文化推進機構

<http://www.mojikatsuji.or.jp>



「知識や知恵の層」という意味の造語です。

民間の広告ネットワーク

AC JAPAN

●北海道事務局 〒060-8545 札幌市中央区大通西5-11-1(電通北海道内) TEL.(011)214-5115 ●東北事務局 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-2-28(河北新報社内) TEL.(022)211-1324 ●東京事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(電通銀座ビル) TEL.(03)3571-5195 ●名古屋事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-8 TEL.(052)263-8651 ●大阪事務局 〒550-0004 大阪市西区堀本町1-6-6 TEL.(06)6443-2404

●中国四国事務局 〒730-8677 広島市中区土橋町7-1(中国新聞社内) TEL.(082)236-2215 ●九州事務局 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-16-10 TEL.(092)713-2558 ●沖縄事務局 〒900-0015 那覇市久茂地3-21-1(電通沖縄内) TEL.(098)862-6144

◆ご希望の方に、ACジャパンのパンフレットをお送りします。(切手200円同封) 詳しくは各事務局またはホームページへ。 <http://www.ad-c.or.jp>

社団法人「ACジャパン」は「公共広告機構」の新しい名称です。全国1200の企業・団体がCSR(企業の社会的責任)活動の一環として参加、その年会費(1口、12万円)によって運営されています。